

ICTを活用した官民連携の健康まちづくり推進プロジェクト

スマートウェルネスシティ協議会（株式会社日建設計総合研究所、札幌市、株式会社つくばエルネスリサーチ）

■ 地域の課題

札幌市では健康長寿社会の早期実現が喫緊の課題

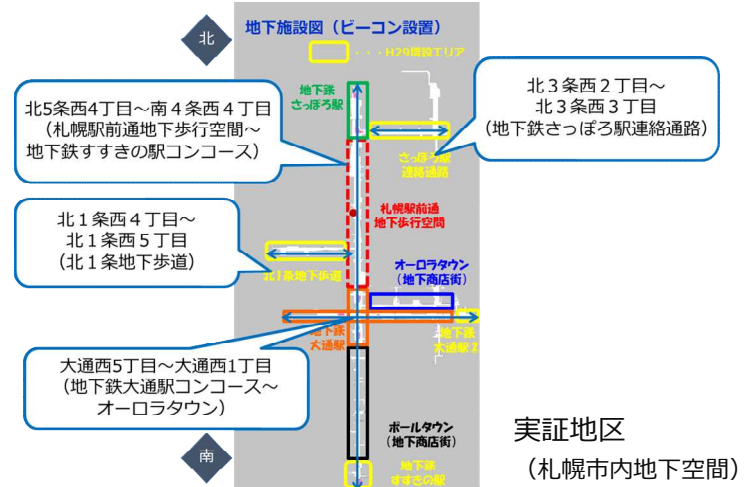
- ・一人当たり医療費は政令市のなかでワースト5（平成27年）
- ・札幌市に集中する道内人口割合は40年間で1.8倍に増加
→人口集中による医療費負担の増大が問題

■ プロジェクトの狙い

- ・“歩行増進”による**健康長寿社会を実現**。
- ・“歩きたくなる”まちづくりを**スマート・プランニング***1で実現。
- ・既設の札幌市ICT活用プラットフォームと連携し、データ駆動型社会の「まちづくりモデル」をつくる。

■ プロジェクトの内容

- ・札幌版「健幸ポイント※2」システムを開発し、「公共交通+歩行」を中心としたライフスタイルへの転換を誘導。
- ・本サービスで取得できる“歩行者データ”を活用したスマート・プランニングで、“歩きたくなる”まちづくりを実践。



実証地区
(札幌市内地下空間)

■ 実証実験①

冬季地下空間の歩行回遊を増進し、都心アクセスを自動車から公共交通に転換させる「札幌版健幸ポイントシステム」を開発。

実証箇所：札幌駅からすすきの地下空間

実証時期：2018年10月～2019年2月

実証内容：公共交通利用と歩行をあわせて行ったモニターにはポイントを付与するなど、健康と公共交通利用を一体的に促進。



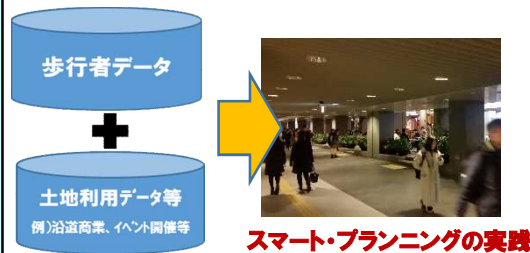
■ 実証実験②

健幸ポイントシステムから取得できる歩行者データや土地利用データ（イベントデータ等）を活用したスマート・プランニングを実践。

実証箇所：札幌駅からすすきの地下空間

実証時期：2018年10月～2019年2月

実証内容：歩行空間沿道のオープンスペースを活用したイベント開催や休息施設の整備等で歩行回遊を促進。



● 将来に向けて

- 地上部、及び札幌市全域へのサービス展開
- ICT活用プラットフォームを活用した循環システムの構築
- スマートウェルネスシティ首長研究会等を通じた他地域への展開



*1：個人単位の行動データをもとに「人の動きをシミュレーション」し、「施策実施の効果を予測」した上で、施設配置や空間形成、交通施策を検討する計画手法

*2：健康づくりを目的とした活動への参加、健康状態の改善、健診の受診や当該結果の改善に応じて、インセンティブとしてポイントを付与する仕組み